



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 岩谷産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8088 URL <http://www.iwatani.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間島 寛  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 哲夫 (TEL) 06-7637-3325  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	284,626	△11.9	7,528	△9.5	9,760	△1.1	6,277	0.7
2020年3月期第2四半期	323,100	△3.3	8,317	△19.6	9,873	△15.9	6,232	△16.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,537百万円(67.1%) 2020年3月期第2四半期 6,304百万円(△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	125.52	108.26
2020年3月期第2四半期	126.66	108.44

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	472,074	207,234	42.0
2020年3月期	469,715	191,152	38.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 198,304百万円 2020年3月期 182,266百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	95.00	95.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 記念配当 20円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	677,500	△1.4	24,700	△14.0	27,600	△14.5	17,300	△17.6	351.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	53,138,109株	2020年3月期	50,273,005株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,045,851株	2020年3月期	1,060,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	50,013,857株	2020年3月期2Q	49,207,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13
3. 補足情報	14
2021年3月期第2四半期実績(連結)	14
(1) 損益計算書	14
(2) LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた経常利益	14
(3) LPガス輸入価格の推移	14
(4) セグメント情報	14
(5) LPガス・産業ガス売上高・売上数量	14
(6) 財政状態	15
(7) 投資の状況	15
(8) キャッシュ・フローの状況	15
(9) (参考) 個別業績の概要	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、緊急事態宣言の解除後、経済活動再開の動きにより個人消費や輸出等に改善が見られたものの、緩やかな回復にとどまりました。世界経済については、中国では生産活動の正常化が進みつつあるものの、その他の国においては本格回復には至っていない状況にあります。

当社においても、新型コロナウイルスの影響により、工業分野向け主力商品の販売が第1四半期を中心に減少しましたが、経済活動の再開に伴い、回復傾向にあります。また、在宅率の上昇を背景に消費者向け商品の販売が増加しました。一方で、LPGガス輸入価格が期初に下落し、低位に推移したことにより、販売価格が下がるとともに、相対的に高値の在庫を販売することとなり、24億14百万円の減益要因（前年同期比4億48百万円の減益）が発生しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「PLAN20」の基本方針である「成長戦略の推進」と「経営基盤の拡充」に取り組みました。

水素エネルギー社会の実現に向けては、神戸・関西圏における水素利活用の社会実装と水素サプライチェーン構築を目的とし、「神戸・関西圏水素利活用協議会」を設立しました。さらに、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会」の設立に向けて準備を進めています。

また、SDGsの実現に向けては、プラスチックに関連する課題の解決に貢献すべく、当社も共同出資している株式会社アールプラスジャパンを通じて環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化事業の確立に取り組むとともに、低環境負荷PET樹脂の拡販を通じて、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速しています。

2015年10月22日に発行した2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債（300億円）につきましては、9月30日時点で103億円が株式に転換され、その後、10月9日までに全額の株式転換が完了しました。これにより、1990年10月以降、30年に渡って200億円であった資本金が350億円となり、資本の充実が図られました。今後のさらなる成長に向けて、積極的な投資を行い、事業規模、収益力の拡大に取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,846億26百万円（前年同期比384億74百万円の減収）、営業利益75億28百万円（同7億88百万円の減益）、経常利益97億60百万円（同1億13百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益62億77百万円（同44百万円の増益）となりました。

なお、当社グループの事業構造はエネルギー関連商品を主力としており、季節変動による影響を大きく受ける傾向にあります。LPGガスの消費量は、気温や水温の影響を受けるため、販売量は夏季に減少し、冬季に増加します。このため当社グループは利益が下半期に偏る収益構造を有しています。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

**【総合エネルギー事業】**

総合エネルギー事業は、LPGガス輸入価格が低位に推移したことに伴い、LPGガスの販売価格が低下しました。また、家庭用LPGガスの販売は増加したものの、業務用・工業用LPGガスの販売が減少し、減収となりました。

利益面については、LPGガスの市況要因による減益影響（前年同期比4億48百万円の減益）はあったものの、カセットこんろ・ボンベの販売が好調に推移し、増益となりました。

この結果、当事業分野の売上高は1,219億39百万円（前年同期比176億73百万円の減収）、営業利益は19億73百万円（同68百万円の増益）となりました。

【産業ガス・機械事業】

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガスについては自動車関連業界および光ファイバー業界向けの販売が減少し、機械設備についても顧客の設備投資の延期等から売上が減少しました。ヘリウムについては、海外での販売が好調に推移しました。水素事業は、液化水素の売上が増加したことに加え、水素関連設備の販売が伸長しました。

この結果、当事業分野の売上高は834億89百万円（前年同期比90億63百万円の減収）、営業利益は42億10百万円（同8億92百万円の減益）となりました。

【マテリアル事業】

マテリアル事業は、ミネラルサンドについては、前期に買収した鉱区の生産、販売が順調に推移しましたが、国内外で自動車関連業界および鉄鋼業界の低迷により販売が減少しました。また、エアコン向け金属加工品の販売が減少しましたが、低環境負荷PET樹脂や機能性フィルムは販売が増加しました。二次電池材料については、市況が下落したことにより減収となりましたが、販売数量は増加しました。

この結果、当事業分野の売上高は651億19百万円（前年同期比92億28百万円の減収）、営業利益は19億82百万円（同1億23百万円の減益）となりました。

【自然産業事業】

自然産業事業は、外食および給食業界向け冷凍食品の販売が減少しました。また、種豚の出荷は増加しましたが、農業設備の販売は減少しました。

この結果、当事業分野の売上高は118億37百万円（前年同期比17億71百万円の減収）、営業利益は3億64百万円（同2億38百万円の減益）となりました。

【その他】

売上高は22億40百万円（前年同期比7億38百万円の減収）、営業利益は5億53百万円（同47百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ23億58百万円増加の4,720億74百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が190億15百万円減少したものの、現金及び預金が122億92百万円、投資有価証券が77億21百万円、有形固定資産が22億43百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ137億24百万円減少の2,648億39百万円となりました。これは、短期借入金が208億27百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が165億円、1年内償還予定の社債が103億85百万円、未払法人税等が40億26百万円、長期借入金が22億54百万円、未払金等の流動負債「その他」が8億47百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

なお、当第2四半期連結会計期間末のリース債務を含めた有利子負債額は、前連結会計年度末と比べ104億79百万円増加の1,370億57百万円となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ160億82百万円増加の2,072億34百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が18億48百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が60億55百万円、資本金が51億85百万円、資本剰余金が52億23百万円、利益剰余金が15億97百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比べ122億81百万円増加の374億2百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ収入が64億7百万円増加したことにより106億41百万円の収入となりました。

これは主に、売上債権の減少額184億16百万円、税金等調整前四半期純利益98億81百万円、減価償却費97億41百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少額192億52百万円、法人税等の支払額74億40百万円、たな卸資産の増加額13億7百万円等による資金の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ支出が34億68百万円減少したことにより133億55百万円の支出となりました。

これは主に、有形固定資産の取得107億86百万円、無形固定資産の取得13億47百万円、投資有価証券の取得7億66百万円等による資金の減少によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ収入が28億26百万円減少したことにより152億7百万円の収入となりました。

これは主に、借入金の純増加額206億95百万円等による資金の増加と、配当金の支払額46億68百万円、リース債務の返済6億15百万円等による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、景気動向やL Pガス輸入価格の変動等が業績に影響を与える可能性があります。当第2四半期連結累計期間においては、2020年5月14日発表の業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,525	37,818
受取手形及び売掛金	107,041	88,026
電子記録債権	13,467	13,744
商品及び製品	33,695	34,138
仕掛品	3,737	4,041
原材料及び貯蔵品	4,800	5,243
その他	15,705	13,013
貸倒引当金	△200	△183
流動資産合計	203,772	195,842
固定資産		
有形固定資産		
土地	65,331	66,692
その他(純額)	106,462	107,345
有形固定資産合計	171,793	174,037
無形固定資産		
のれん	12,904	12,866
その他	3,863	3,848
無形固定資産合計	16,767	16,714
投資その他の資産		
投資有価証券	63,769	71,491
その他	14,187	14,563
貸倒引当金	△575	△574
投資その他の資産合計	77,381	85,480
固定資産合計	265,942	276,232
資産合計	469,715	472,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,844	51,343
電子記録債務	25,068	22,061
短期借入金	19,434	40,261
1年内償還予定の社債	35,016	24,631
未払法人税等	6,650	2,623
賞与引当金	5,152	5,378
その他	31,965	31,117
流動負債合計	191,131	177,418
固定負債		
長期借入金	64,743	62,489
役員退職慰労引当金	1,493	1,333
訴訟損失引当金	163	163
退職給付に係る負債	5,615	5,521
その他	15,417	17,914
固定負債合計	87,432	87,421
負債合計	278,563	264,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,096	25,281
資本剰余金	16,728	21,951
利益剰余金	130,762	132,360
自己株式	△1,515	△1,498
株主資本合計	166,071	178,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,119	20,174
繰延ヘッジ損益	1,608	1,370
為替換算調整勘定	558	△1,290
退職給付に係る調整累計額	△91	△44
その他の包括利益累計額合計	16,194	20,210
非支配株主持分	8,885	8,930
純資産合計	191,152	207,234
負債純資産合計	469,715	472,074



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	323,100	284,626
売上原価	242,975	206,349
売上総利益	80,125	78,277
販売費及び一般管理費		
運搬費	11,966	11,765
貸倒引当金繰入額	1	△9
給料手当及び賞与	17,445	17,440
賞与引当金繰入額	4,606	4,721
退職給付費用	810	897
役員退職慰労引当金繰入額	107	115
その他	36,870	35,816
販売費及び一般管理費合計	71,808	70,748
営業利益	8,317	7,528
営業外収益		
受取利息	160	173
受取配当金	668	580
為替差益	93	54
持分法による投資利益	172	291
その他	1,319	1,978
営業外収益合計	2,414	3,078
営業外費用		
支払利息	422	470
売上割引	178	165
その他	257	210
営業外費用合計	858	846
経常利益	9,873	9,760
特別利益		
固定資産売却益	429	109
投資有価証券売却益	7	137
負ののれん発生益	303	—
補助金収入	3	79
特別利益合計	744	326
特別損失		
固定資産売却損	219	2
固定資産除却損	154	122
減損損失	9	0
投資有価証券評価損	67	1
関係会社清算損	76	—
固定資産圧縮損	3	79
特別損失合計	531	205
税金等調整前四半期純利益	10,086	9,881
法人税等	3,463	3,334
四半期純利益	6,622	6,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	389	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,232	6,277

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,622	6,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	6,034
繰延ヘッジ損益	121	△238
為替換算調整勘定	△394	△1,867
退職給付に係る調整額	32	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	18
その他の包括利益合計	△317	3,990
四半期包括利益	6,304	10,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,949	10,293
非支配株主に係る四半期包括利益	355	244

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,086	9,881
減価償却費	9,162	9,741
減損損失	9	0
固定資産圧縮損	3	79
のれん償却額	1,458	1,490
負ののれん発生益	△303	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△49	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	251	219
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△278	△107
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△101	△60
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△69	△159
受取利息及び受取配当金	△828	△754
支払利息	422	470
為替差損益 (△は益)	213	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△172	△291
固定資産除売却損益 (△は益)	△55	15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	△137
投資有価証券評価損益 (△は益)	67	1
関係会社清算損益 (△は益)	76	—
売上債権の増減額 (△は増加)	7,706	18,416
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,332	△1,307
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,990	△19,252
前受金の増減額 (△は減少)	1,086	△332
その他	△2,340	△335
小計	9,015	17,555
利息及び配当金の受取額	755	744
持分法適用会社からの配当金の受取額	151	183
利息の支払額	△361	△401
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,327	△7,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,234	10,641

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,611	△10,786
有形固定資産の売却による収入	994	182
無形固定資産の取得による支出	△2,003	△1,347
無形固定資産の売却による収入	3	4
投資有価証券の取得による支出	△1,664	△766
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	728
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△120	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,159	—
出資金の売却による収入	7	4
貸付けによる支出	△3,717	△1,830
貸付金の回収による収入	3,767	1,395
その他	△319	△940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,824	△13,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,491	20,638
長期借入れによる収入	9,143	1,152
長期借入金の返済による支出	△2,540	△1,095
自己株式の純増減額 (△は増加)	33	△4
リース債務の返済による支出	△637	△615
配当金の支払額	△3,192	△4,668
非支配株主への配当金の支払額	△155	△199
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△108	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,033	15,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△338	△379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,104	12,113
現金及び現金同等物の期首残高	19,510	25,121
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	168
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	27	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,643	37,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2015年10月22日に発行した「2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の新株への転換行使が進んだことから、資本金及び資本剰余金のうち資本準備金がそれぞれ5,185百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が25,281百万円、資本準備金が10,285百万円となりました。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	自然産業 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	139,612	92,553	74,348	13,608	320,121	2,979	323,100	—	323,100
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,547	1,929	918	215	5,611	10,063	15,675	△15,675	—
計	142,159	94,483	75,266	13,823	325,732	13,043	338,776	△15,675	323,100
セグメント利益 又は損失 (△)	1,904	5,102	2,105	603	9,717	505	10,222	△1,905	8,317

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	自然産業 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	121,939	83,489	65,119	11,837	282,385	2,240	284,626	—	284,626
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,748	1,406	797	64	5,016	10,195	15,212	△15,212	—
計	124,687	84,895	65,917	11,902	287,402	12,436	299,838	△15,212	284,626
セグメント利益 又は損失(△)	1,973	4,210	1,982	364	8,531	553	9,084	△1,556	7,528

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(転換社債型新株予約権付社債の権利行使)

当社が2015年10月22日に発行した「2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」の残存価額について、当第2四半期連結会計期間末日以降から行使期限である2020年10月8日までに全額権利行使が行われており、概要は以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末日までの新株予約権の権利行使状況については、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご参照ください。

1. 新株予約権の行使個数	1,963個
2. 行使される社債額面金額	19,630百万円
3. 発行する株式の種類及び株式数	普通株式 5,423,540株
4. 増加する資本金の額	9,815百万円
5. 増加する資本準備金の額	9,815百万円

3. 補足情報

2021年3月期第2四半期 実績 (連結)

(億円未満切捨て)

(1)【損益計算書】

(単位:億円)

	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率	通期 業績予想	決算の概況
売上高	3,231	2,846	△ 384	△ 11.9%	6,775	・売上高は主に新型コロナウイルスの影響により工業分野向け主力商品の販売が第1四半期を中心に減少したことに加え、LPガス輸入価格が低位に推移したことにより減収 ・利益面は主にLPガス市況要因による影響で利益を押し下げたものの、消費者向け商品の販売増加や販管費の減少、営業外損益の改善により経常利益以下は、概ね前年同期の利益水準となる
売上総利益	801	782	△ 18	△ 2.3%	—	
営業利益	83	75	△ 7	△ 9.5%	247	
経常利益	98	97	△ 1	△ 1.1%	276	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	62	62	0	0.7%	173	

※通期業績予想は、2020年5月14日に公表した数値を表示しております。

(2)【LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた経常利益】

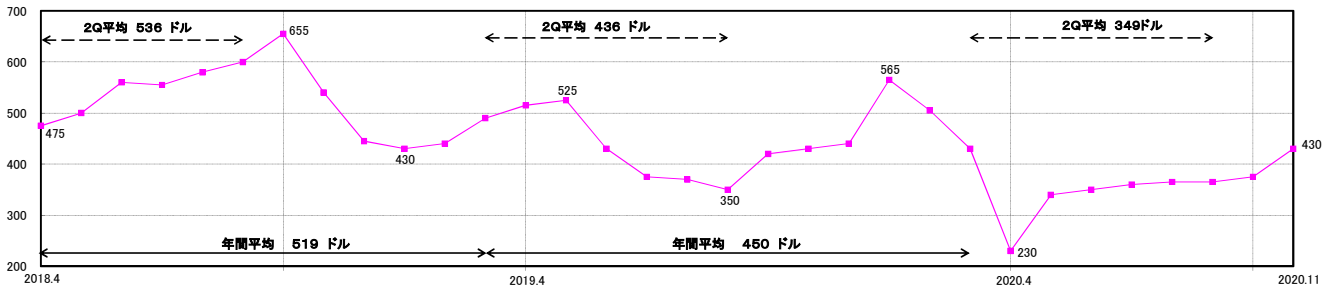
(単位:億円)

	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率	通期 業績予想	経常利益の概況
経常利益	98	97	△ 1	△ 1.1%	276	・LPガス輸入価格が期初に下落し、低位に推移したことにより、販売価格が下がるとともに、相対的に高値の在庫を販売することとなり、24億円の減収要因が発生 ・市況要因を除く経常利益は121億円となり、前年同期比3億円の増益
市況要因	△ 19	△ 24	△ 4	—	—	
市況要因を除く経常利益	118	121	3	2.8%	276	

※LPガスの輸入から販売までの期間は比較的長期であることから、LPガス輸入価格の急激な変動により輸入価格が上昇局面の場合は輸入価格の安いLPガス在庫を高い卸売価格で販売することにより増収要因となる一方、下落局面の場合は輸入価格の高いLPガス在庫を安い卸売価格で販売することにより減収要因となり、短期的に当社グループの業績に影響を及ぼす原因となるため、市況要因を除く経常利益を記載しております。

(3)【LPガス輸入価格の推移】

プロパン(ドル/トン)



(4)【セグメント情報】

(単位:億円)

	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率	セグメントの概況	
総合エネルギー事業	売上高	1,396	1,219	△ 176	△ 12.7%	・LPガス輸入価格の下落および販売減少により減収 ・LPガスの市況要因により利益押し下げ ・カセットこんろ・ボンベの販売増加により増益
	営業利益	19	19	0	3.6%	
産業ガス・機械事業	売上高	925	834	△ 90	△ 9.8%	・エアセパレートガス、機械設備の販売が減少 ・ヘリウムガスは海外での販売が増加 ・液化水素の売上増加、水素関連設備の販売伸長
	営業利益	51	42	△ 8	△ 17.5%	
マテリアル事業	売上高	743	651	△ 92	△ 12.4%	・ミネラルサンドは国内で販売が減少 ・二次電池材料の市況下落、金属加工品の販売減少 ・低環境負荷PET樹脂や機能性フィルムの販売が増加
	営業利益	21	19	△ 1	△ 5.9%	
自然産業事業	売上高	136	118	△ 17	△ 13.0%	・外食および給食業界向け冷凍食品の販売が減少 ・種豚の出荷が増加 ・農業設備の販売が減少
	営業利益	6	3	△ 2	△ 39.6%	
その他	売上高	29	22	△ 7	△ 24.8%	
	営業利益	△ 13	△ 10	3	—	

※「売上高」は、外部顧客への売上高を表示しております。  
 ※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

(5)【LPガス・産業ガス売上高・売上数量】

	売上数量 (単位:千トン)				売上高 (単位:億円)			
	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率
国内民生用	637	595	△ 42	△ 6.6%	627	551	△ 75	△ 12.1%
国内工業用	148	133	△ 15	△ 10.3%	104	80	△ 23	△ 22.9%
LPガス(海外除く)	786	728	△ 57	△ 7.3%	731	631	△ 99	△ 13.6%
LPガス合計	1,125	1,018	△ 107	△ 9.6%	885	732	△ 152	△ 17.2%
各種産業ガス	—	—	—	—	506	477	△ 28	△ 5.7%



(6)【財政状態】

(単位:億円)

	前期末	当第2四半期末	前期末比
総資産	4,697	4,720	23
自己資本	1,822	1,983	160
有利子負債	1,265	1,370	104
ネット有利子負債	1,010	992	△ 18
自己資本比率	38.8%	42.0%	3.2pt
有利子負債依存度	26.9%	29.0%	2.1pt
有利子負債倍率	0.69倍	0.69倍	0.00pt
ネット有利子負債倍率	0.55倍	0.50倍	△0.05pt

※有利子負債には、リース債務32億円を含んでおります。

(7)【投資の状況】

(単位:億円)

	当第2四半期	年間計画
総合エネルギー事業	56	116
産業ガス・機械事業	41	232
マテリアル事業	14	46
自然産業事業	1	4
その他	15	42
投資額	129	440
減価償却費	92	195

※有形固定資産・無形固定資産(のれん除く)・投資有価証券を表示しております。

※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

(8)【キャッシュ・フローの状況】

(単位:億円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	195	251	56
営業活動によるC/F	42	106	64
投資活動によるC/F	△ 168	△ 133	34
フリー・キャッシュ・フロー	△ 125	△ 27	98
財務活動によるC/F	180	152	△ 28
換算差額	△ 3	△ 3	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	51	121	70
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	1	1
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—	△ 0
現金及び現金同等物の期末残高	246	374	127

(9)【参考】【個別業績の概要】

(損益計算書)

(単位:億円)

	前第2四半期 (2019/9)	当第2四半期 (2020/9)	増減額	増減率
売上高	2,215	1,945	△ 269	△ 12.2%
営業利益	5	7	1	26.4%
経常利益	52	61	9	17.5%
四半期純利益	45	53	7	17.1%

(財政状態)

(単位:億円)

	前期末	当第2四半期末	前期末比
総資産	3,312	3,385	73
自己資本	1,182	1,350	167
自己資本比率	35.7%	39.9%	4.2pt